

新しい常設展 が始まります

初代頼重は寺社にどのように関わったか

高松藩主松平頼重生誕400年記念展Ⅱ よりしげ 頼重と寺社

法然寺、浄願寺、志度寺、白鳥神社

- 1 会 期** 令和4年11月12日(土)～令和5年1月29日(日)  
※前期：11/12(土)～12/18(日) 後期：12/20(火)～R5/1/29(日)  
(前期・後期で展示替えあり)  
開館時間：9：00～17：00  
※入館は閉館の30分前まで  
休 館 日：月曜日(但しR5/1/2、9、16は開館)、12/25(日)～R5/1/1(日)、  
1/17(火)
- 2 会 場** 香川県立ミュージアム(高松市玉藻町5-5) 常設展示室1
- 3 展示内容** 令和4年(2022年)は、高松藩初代藩主となった松平頼重が誕生して400年を迎える年になります。本展では、頼重の事績を寺社との関わりから紹介します。頼重は藩主として寺社に向き合いながら、宗教・宗派を超えて、神仏に対して幅広い関心を持ち、寺社に寄進等を行いました。ここでは、頼重が関わった寺社の中から、法然寺・浄願寺・志度寺・白鳥宮(現白鳥神社)を取り上げます。
- 4 展示点数** 40件42点
- 5 観 覧 料** 一般410円(330円)  
\* ( )内は20名以上の団体料金  
\* 「第69回日本伝統工芸展」観覧券で観覧できます(R5/1/2～1/16)。  
\* 高校生以下、65歳以上、障害者手帳をお持ちの方は無料
- 6 関連行事** ミュージアムトーク(担当学芸員による展示解説)  
日 時：11月19日(土)・12月11日(日)・令和5年1月21日(土)  
各日13：30～ 30分程度  
場 所：常設展示室1 \* 申込不要、観覧券が必要  
学芸講座「お殿様の祈り—頼重公の造寺造仏からみる」  
日 時：11月26日(土)13：30～15：00  
場 所：地下1階講堂  
申込・定員：要事前申込み・定員230名(定員になり次第受付終了)  
申込方法：電話、ファックス、はがき、「かがわ電子自治体システム」で申込可  
申込開始は10/26(水)～

※新型コロナウイルス感染症防止対策に御協力の上、御観覧いただきますようお願いいたします。

(裏面に続く)

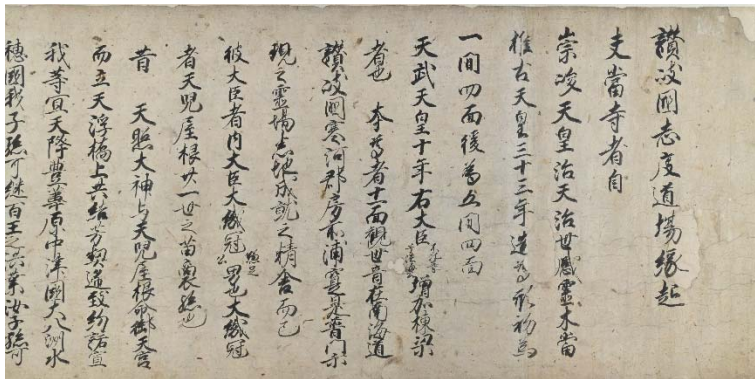
7 主な展示資料

浄願寺旧蔵 <sup>もくぞうりゅうけんげんえいざぞう</sup> 木造 龍雲軒源英坐像 江戸時代 法然寺蔵



浄願寺は高松城下にある高松松平家の菩提寺で、歴代藩主の位牌が置かれ、年忌法要等が行われた。寺内に設けられた廟「乾英閣（けんえいかく）」に安置された像で、剃髪し僧形で表されていることから、寛文13年（延宝元、1673）に病を理由に隠居した後の姿と考えられる。「龍雲軒源英」は頼重が隠居してから名乗った号である。

志度寺縁起等付属文書 <sup>しどじえんぎなどふぞくもんじよ</sup> 志度道場縁起[前期] <sup>しどどうじょうえんぎ</sup> 室町時代 志度寺蔵 （重要文化財・附） <sup>つけたり</sup>



重要文化財「絹本着色志度寺縁起」の附となっている、志度寺のゆかりなどを文章で表した縁起文。縁起絵とともに志度寺の寺宝として大切に伝えられた。讃岐国を治めた生駒家が修復した後、頼重とその一族も表装を新たに作る等の手を加えた。時の権力者たちが注目した貴重な品である。

白鳥宮御額題字 <sup>しろとりぐうおがくだいじ</sup> 寛文4年（1664） 白鳥神社蔵 （東かがわ市指定有形文化財）



松平頼重によって、日本武尊（やまとたけるのみこと）を祀る神社として整備された白鳥宮（現白鳥神社）の拝殿正面に掲げられる宮号を示す額の原字を掛幅装に仕立てたもの。

頼重と修験（しゅげん）を通じて関係があった道晃法親王（どうこうほっしんのう）の起筆。頼重が深く関わった寺社には道晃法親王の書を用いた寺号や宮号の額が用いられており、頼重と寺社の関係を考える上で注目される。